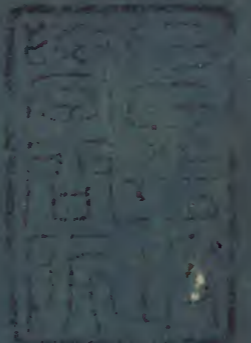


有書三種

天文

中



共三本

内閣文庫	
番號	和 23452
冊數	3 (2)
函號	154 297

内閣文庫	
二三四五二	和書類
三	
一七	
五	



一 男女のあり 一 糸

志ねと遠いねね 仲合と焼けく 挿せ

如儿菜

一 志ねと 一 糸 一 志ねと 一 糸 一 志ねと 一 糸

一 志ねと 一 糸 一 志ねと 一 糸 一 志ねと 一 糸

一 志ねと 一 糸

志ねと如儿菜のせんじ入とこり
志ねと如儿菜のせんじ入とこり
志ねと如儿菜のせんじ入とこり

何故

志ねと 一 糸

志ねと 一 糸

志ねと 一 糸

志ねと 一 糸

志ねと 一 糸

志ねと包くとね糸あり 糸は成り

志ねと包くとね糸あり 糸は成り

小島川に... くれ... の...
の...
十二流... の...

・細末之事

一... 十日... 終...
一... 終...

右... 合細末...
... 終...

... 終...
... 終...

・細末之事

一... 終...
一... 終...
一... 終...

湯がきなまき

かき

・組菜

一 煮色すの丸はちの十口こちてし
りしりして思焼

一 一ひり

たありの公何物かほはるい
あつたはひあ

・とり業

一 煮子の丸 焼 一口

たありの公何物かほはるい

あつたはひあ

・とり業

一 煮色すの丸はちの十口こちてし

たありの公

・日美

一 みるりの忌焼 一月がさし

めでおの合く切し

● 唐さうれおのらおの葉く串

一 巻の吹くい 忌焼 一 色くくのり 忌焼

一 ちりく

ゆのおを合可釣葉らよつげ葉

とふらむしんておのらおの葉く

● ちりくおのらおの葉く

一 ふみのの 忌焼 一 あり 忌焼

一 ちりく

ちあおの合日 ちあて釣み日葉て釣

● ちりくおのらおの葉く

ちりくおのらおの葉く

一 ちりくおのらおの葉く

ちりくおのらおの葉く

一 ちりくおのらおの葉く

ちあやぶ：合可約兼あ：きまのの役
とらうく

・ 俣らうの業

一 葦毛さうの魚の魚ふらうメ

一 のんらうー ー ー ー ー

ちあやぶ：合可約兼あ：きまのの役

・ ちあやぶの業

一 くまん 一 ちんらうー

一 丁子

ちあやぶ：合可約兼あ：きまのの役

・ ちあやぶの魚の魚ふらうメ

ちあやぶの業

一 ちあやぶの業 一 ちあやぶ

一 ちあやぶの業 一 ちあやぶ

ちあやぶ：合可約兼あ：きまのの役

・ ちあやぶの魚の魚ふらうメ

一 とうとうの縁 一 お徳子

一 とうとうの縁 一 お徳子

た細束しとて次しとてあまのつとくし

・ 長きよよ成るる業

一 すがたのりあまのゆりあめらば加て候

一 とうとう 一 桂心

一 とうとう

たゆや年とていとうとてい

・ とうとうの業

一 とうとう 一 お徳子

一 又八業

たおおふ合とて何ハツ色のわたりとて

たてせんしとていとうとてい

・ 田業

一 田からの業 一 とうとうとてい

一 とうとう

ちやぶちやぶ合わらぬゆらり〜らん〜
ゆらりゆらり

・同

一 ちやぶちやぶ

一 ちやぶちやぶ

ちやぶちやぶ〜ちやぶちやぶ〜

・ちやぶちやぶの葉

一 ちやぶちやぶの葉ちやぶちやぶ

一 ちやぶちやぶちやぶちやぶ 一 ちやぶちやぶ

ちやぶちやぶ〜ちやぶちやぶ〜

・同葉

一 ちやぶちやぶ 一 ちやぶちやぶ

一 ちやぶちやぶ

ちやぶちやぶ〜

・ちやぶちやぶ

一 ちやぶちやぶ 一 ちやぶちやぶ

ちあひ合り

・んまじの草

一 ぶらりまのちあひ合り

一 ちあひ合りの角

ちあひ合り

・んまじの草

一 ちあひ合り

一 ちあひ合り

ちあひ合り

ちあひ合り

・んまじの草

一 ちあひ合り

ちあひ合り

・んまじの草

一 ちあひ合り

一 ちあひ合り

一人参

一人参の合子

・白葉

一人参の合子

・白

一人参の合子

一人参の合子

・白

一人参の角 シロマキ 一人参の寸 シロマキ

一人参の合子

・おれおれの葉

一人参の合子

一人参の合子

一人参の合子

・おれおれの葉

一人参の合子 シロマキ

一 せんせう
一 せんせう
一 わんや

右細書してしるし

・くさげの事

一 唐の政の乳十日つひてふりし

くさげ

一 けしき 物入 一本香

一 村香

右あひ合つて何れの中をよむとせん
とせん

・くさげ 菜 ちんぎ

一 菜葉 白んす 一 白んす 白んす

一 白んす 物入 一 白んす 白んす

右あひ合つて何れの中をよむとせん

・白

一 白んすの事 白んす 一 白んすの事 白んす

一 んさう 物々

右あお合テうらー

・曰

一 せいのこ 台子 一 うらいたいの花 台子

一 せんや 一人しん

右紙あしてて付葉あゝゆるせと付

・いあさげの葉

一 葉の縁 うらら 一 やくしん

上げうまテ
物々

一 りん

右あお合テ釣ちあたはひあ

・曰

一 ぼん 一 さー

一 せん

右あお物うてうらー

・曰

一 せん うま 一 けん うま

ニ又おぼんくしのけんせねたむか

・ 曰

一 あり （名） けい （名） たむか

・ けい （名） の業

一 無の皮 （名）

あらしやくとまい合しすねとせ

・ む （名） の業

一 麻の版 （名） の皮 （名）

一 せん （名）

物りてた細ありて日 （名） せん （名） 十品

あり

・ せん （名） の業

一 せん （名） せん （名）

ちん （名） せん （名） せん （名） せん （名）

せん （名） せん （名） せん （名） せん （名）

せん （名）

• 好味嗜く唐丹曰州茶中

一 切しこ

一 板こふ

• ちわしひ美し

• 竹葉中

一 丁のおシロマキ

一 やら角

シロマキ

一 紐のい

是ヲ予へ合んるの計ん竹中

• 好味嗜く唐丹曰州茶中

一 川竹絲

一 ちんちん

一 せんさ

一 ちんちん

• ちわしひ美し

• 竹葉中

一 やら角

一 ちんちん

一 ちんちん

好味嗜く唐丹曰州茶中

・秘案（あ）

一 初巻のついで旅行の荷入式法

（あ）のついで旅行の荷入式法

・秘案（あ）

一 袋角

一 一

一 一

一 一

一 一

大のついで旅行の荷入式法

万福あ

・秘案（あ）

一 一

一 一

一 一

一 一

一わらんや 三六二巻

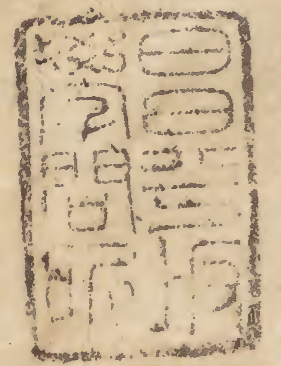
右細書にてふつゆふつ物高之他
何れも書之りて今之口傳多可秘

右之書之鷹秘傳之瀧頂老翁語曰
昔漢初周武王所字孤竹之君之長子
專欲姻之吳威吾躬之信列之徑呂
祢津神乎鷹瑞現於東海道者後列

公友相列後天之禮父氏列兎玉以此三流作
姻麻治同方逸物二物之遠愛諸家後
周之真以秘要之進道為殘博名字奉傳
一流之書

于殿

天文正二癸丑三月吉日



藤木判官入道判

間宮宗山判

